



☆ 子どもが帰った後からは の巻 ☆

唱歌「夕焼小焼」では、カラスと一緒に子どもが帰った後、空に丸い大きなお月様、と続きます。あなたにも、そんな思い出の風景がありますか？

野外で遊ぶ子どもたちの姿は、もう、長く見ません。長崎市出身のわたしは毎日、野山で遊び疲れ、晩御飯を食べながら居眠りしたこともあるほどでしたが。

☆

お子さんは、学校での話をしてみてくださいか？そのお話の登場人物は、お子さんだけの場合も、仲良しさんとの事もあるでしょう。今日は、普段、お子さんの話に出て来ない子が登場した時についてのお話です。

おとなの世界と違って学校はお子さんが、不特定の子ども（おとな）と一定の関わりを持って生活する場所です。その環境が、『自立性と協調性とのバランス』、すなわち【社会性】を学ぶ、とまも大事な機会となっています。もうすぐギガ・スクール構想で、一人に一台、タブレット端末が配布されます。予測不可能なコロナ禍、いつでも自宅で学習できる、便利なくみです。でも学校での、社会性を学ぶ機会はどうなるのでしょうか。

★ ☆

子どもたちは、学校で自然に社会性を学び、自然に人間関係を作り上げています。普段の楽しい話に出て来る友だちは、回数が多いほど親しいと考える良さそうです。でも普段、名前が出て来なかった子どもの話は、印象的な出来事があった証です。その話題には、特別に耳を傾けて欲しいという、お話です。出来事は気になるけれど、親しくない子には声を掛けられない子が多いようです。お子さんが「気に掛かる」から、一番の味方、あなたに聞いてもらい、気持ちや掛かえを安心してほしいのです。そこで特別なアドバイスは不要です。「その子は大変だね」「あなたから先生に相談したら」そんな相づちを打っていただきたいのです。

☆ ★ ☆

もう一つお願いして良いですか？

仲良しとケンカした話には、「いつもは仲良しなのに困ったね」という立場で聞いてあげて欲しいのです。子どもたちの関係は、おとな同士の関係と違って、毎日のように目まぐるしく変わります。あなたが聞いた今夜と明日の朝とでは、状況が変わる事が多いのです。だからあなたには、あなたのお子さんを受け止めてあげていただきたいのです。もし、あなたも気になったら是非、あなたから担任にお声掛けください。



遊びをせむとや生まれけむ。戯^{たわむ}れせんとや生まれけん。遊ぶ子どもの声きけば…